

南の風、吹かそう皆で!

宮崎南ロータリークラブ
会長 早瀬清則

第1985回例会 2018.11.26

会長 / 早瀬清則 幹事 / 山地久守
副会長 / 小園隆司 会報 / 三重野孝
例会場 / 宮崎観光ホテル
ソング / 日も風も星も
ロータリーの目的

会長挨拶

早瀬清則会長



皆さんこんにちは、先週はドイツからのお客様達のお陰で、少々国際的ムードの例会と成りました。無事帰国されたでしょうか?

ドイツの皆さん有り難うございました。

「ダンケシェーン！」

さて、宮崎の11月はゴルフマンスデーと言われ、男女共にビッグな大会が開催されました。

先々週は、45回目となります、ダンロップ・フェニックス・トーナメントが有りました。この大会は、賞金総額2億円、優勝賞金が4,000万円、国内で最高の大会ですが、注目の3連覇が懸かっていたケブカ選手は、9アンダーの12位に終わりました。今年全米オープン、全米プロを制し、一時世界ランキング1位に成ったケブカ選手も今回は、シーサイドコースに手を焼いた様です。又、期待された松山英樹選手は、1日目星野選手の玉を誤球で2打罰、そのせいか2日目も調子は上がらず、石川遼選手と共に何とか予選通過しましたが、結局44位に終わりました。

優勝したのは、5打差を逆転した、市原弘大選手でこの大会初優勝でした。

そして先週は、16年目となりますLPGAツアーチャンピオンシップ・リコーカップが、宮崎カントリー

出席委員会報告

島田博良委員長

●出席状況

本日状況		前々回状況	
会員数	(44) 46名	会員数	(43) 46名
本日欠席者数	15名	ホームクラブ出席者数	31名
本日出席者数	31名	メイクアップ数	1名
出席率	72.09%	修正出席者数	32名
		修正出席率	74.42%

●前々回メイクアップされた方/大迫三郎会員

ニコニコBOX 2件 3,000円
累計 47,000円

募金箱 5,197円
累計 74,316円

クラブでありました。

この大会は、今季の優勝者と賞金ランキング25位までの29選手で行われ、地元宮崎から、大山志保、永峰咲希、香妻琴乃の3選手が出場し多くの応援団としてのギャラリーが詰めかけました。しかし、やはり韓国勢の壁は厚く、最終日の18番までもつれる展開になりましたが、鈴木愛選手が18番で1m弱のパーパットを惜しくも外して脱落。申ジエと、ペ・ヒギョンのプレーオフに成り、今季賞金女王2位で、冷静沈着な申ジエが2度目の優勝をしました。宮崎勢では、大山選手が「6アンダーの7位」で1番の成績でしたが、41才の年齢の事や、数々の怪我の事等を考えると本当に良くやったと思います。

来年3月にはUMK寺村社長の、UMKカントリークラブで、アクサレデース・トーナメントが行われますが、今大会出場の殆どの選手が参戦だと思えます。この大会での宮崎勢の優勝を是非見たいものだと思います。

それから12月16日は、我がクラブのゴルフコンペがこの宮崎カントリークラブであります。皆さん是非ご参加下さい。以上です。

Rotary ロータリー情報

●罰金 (Fine)

ロータリーの例会で、会員が何か失敗したとき、罰金としてニコニコBOXに小金を入れてもらうことがあるが、この罰金をファインという。

幹事報告

山地久守幹事



・RYLA参加募集の案内が来ております。開催日時は、平成31年3月16日(土)～17日(日)の1日目は11:00～17:00(17:00～研修ワークショップ、夕食、自由交歓等)、2日目は7:00～12:30です。開催場所は「むかばき青少年自然の家(延岡市)」です。RYLA終了後は、RYLA学友会生として、RYLA開催の手伝い、ローターアクト、ロータリーに入会してもらうことを目標にしていますので、ロータリーファミリーになり得る若者の参加を募集します。また、ロータリアンの参加もお待ちしています(申込締切:平成31年1月11日)。

親睦委員会

高瀬俊彦委員長



・12月16日(日)宮崎南ロータリークラブゴルフコンペを行います。
・12月17日(月)は年末家族懇親会になっておりので多数の参加と景品の提供をよろしく願います。

ニコニコBOX



矢野智哉会員

渡邊会員、長澤会員、富井会員と会社を設立しました。

株式会社サザンウインド。南からの風をふかせていきます。



富井雄二会員

高鍋ロータリークラブ主催で家内が講演を致します。

本日のプログラム

会員卓話

中国人の文化の違いの考察 山崎栄一郎会員



「メディアでもよく政府の法案でも外国人労働者の事が議論されておりますが、最近の人手、労働者の不足について、私の会社でも深刻なものがあります。外国人技能実習生制度を取り入れた会社などの情報を収集してみると、とても優秀で一生懸命頑張ってくれている等、良い印象の情報が多いようです。途

中で逃出したり、健康保険の問題があったりと、実際はたくさんの外国人労働者が入ってきてから、様々な問題が出てくるのではないかと思います。

日本に一番多い外国人、一般在留資格を持つ外国人は現在については中国人だそうです。次に韓国人が多いそうです。私の周りにも知り合いの中国人が何人かいます。付き合いが深まると文化の違いに驚かされるが多々あります。そういった違いについての私なりの考察をしてみたいと思います。

中国の国土は日本の25倍、人口は13億8000万人、日本人口の10倍。世界人口から見ると5人に1人が中国人という風になります。

大分落ち着きましたが観光地に行くと中国人観光客がたくさんいます。彼らの声が非常に大きいと思います。実際2人で話していても、静かなところでも、結構声が大きいです。それは発声の仕方に関してあって、同音異義語、違った言葉で同じ音の言葉を4つの声調で使い分けるため、大きい声でないと聞き取りづらいようです。声調の違いの例ですがmaだけでもお母さん、麻、馬、ののしる、この4つの違いが出てきます。

中国にはたくさんの美味しい料理がありますが、日本の中華料理とはちょっと違うようです。何が違うのかは、八角が効いているからではないかなと私は思います。実際、中国のフランクフルトやハンバーガーにも八角が入っていました。それと中国人はみな辛い食べ物が大好きです。辛さの度合いが違うと感ずることが多々ありました。あとよく見かける中国人同士の食事の時にテーブルマナーについてですが、骨とか殻とか机に置いてテーブルの上はめっちゃくちゃ、食べ残しはどっさり、もったいないという光景を見ることがあるかと思いますが。中国では基本、順番制で食事を支払う人が先に決まっています、支払う側はケチと思われぬようにたくさんの料理をどんどん注文します。足りないとまた注文して食べきれないようにするのが美德のようで、食べる側は食べ散らかすのが礼儀とされています。自分の手元がきれいなままだと、おいしくないの?もって食べてとせかされます。領収書についてですが、中国では領収書は国から買うようで、発行してもらうのにお金がかかり、支払う金額も領収書、ありとなしでは金額が違います。ご飯の時などは殆どありません。

私が聞いて面白いと思った話なのですが、道端で倒れて人がいたとします。日本では大丈夫ですかと

その人を助けてあげます。中国ではそういう光景を見つけたら知らないふりをするか、まずその場から逃げるそうです。理由を聞くと助けて手を差し出すと倒れた人から貴方のせいでこうなったから、お金を払えと言われるかもしれないとのことでした。

ほかの中国人にも聞いてみましたが、同じようでした。他人のことに干渉しては時間がもったいない。他人に構ってはい時間がいくらあっても足りないとのことでした。私の友人はよく言います。私以外の中国人は信用していきませんと。同じ国の人間に身構えているのが不思議に思えてなりません。しかし友人や身内になるととてもやさしく良くしてくれます。今度は日本人以上に世話を焼いてくれます。このギャップがとても面白いことだと言えます。

これから様々な外国人が日本にやってくると思います。日本に在住するならそれなりのルールを守らなければなりません。私の知っている在日の中国人はそれをよく理解しています。日本の少子高齢化の波はこれからずっと及んでいくことでしょう。日本の未来人口を支えるのは外国人になるのかもしれない。

リラクゼーションについて 長澤好太郎会員



今現在宮崎市内に全身もみほぐし、足つぼのお店、手ごころを1番街店、大塚店、清武店と3店舗経営していますので本日の卓話はリラクゼーションについてお話をさせていただきます。

リラクゼーションとは、身体的・精神的・情緒的な緊張の無い状態で心身共にストレスから解放された状態を指し、広い意味では「休養・息抜き・気晴らし」などを意味します。また、リラクゼーションとはリラックスした状態へ誘導するための手段や方法の事を言います。

リラクゼーションサロンとマッサージの違い

リラクゼーションサロンではオイルマッサージや指圧などを行うことが多いため、傾向としてはリラクゼーションとマッサージは混同されることが少なくありません。

しかし、この二つには明確な違いが存在しています。マッサージを行うためにはあん摩マッサージ指圧師の国家資格を持っている必要があり、国家試験を受験するには専門学校に通う必要があります。

リラクゼーションは資格が要らず、誰でも施術を

行うことができます。リラクゼーションサロンは本来、マッサージなどの医業類似行為は行うことができません。

そのため、サロンで行うマッサージなどは、肉体的、精神的な緊張をほぐすことを目的とした施術となります。

お客様の中には何々を治してくれなどと言う方もいますがそのような対応はできません。

手ごころのスタッフについてですが働くスタッフも様々です。整体師、理学療法士、鍼灸師の国家資格を持たれているスタッフ。全身もみほぐし、足つぼの系統ではなくタイ古式、アロマの経験者。また、未経験から講習を受けて始めるスタッフなども勿論たくさんいます。

どのようなお客様が来店されるのか

お客様に関しては、癒しを求めに来られるお客様、癒しの中に疲れを取られるお客様、中には暇潰しに来られるお客様もいらっしゃいます。

5年近く前まではリラクゼーションマッサージの料金は10分1000円前後が主流でしたが時代の流れなのか最近では60分3000円～3500円くらいの価格が大変人気があり高価格帯の店舗は潰れたり料金を下げたりと言う傾向になっています。価格が下がることにより気軽に来店出来るようになったことが人気になった一つの要因だと思います。

最近、急成長のりらくるも全国に凄い勢いで店舗展開していますしそれに近い勢いで店舗展開している会社もいるので業界的には時代の波に乗ってる職業と言う事がわかります。

今までリラクゼーションサロンに行かれた事がない方は是非一度体験してみてください。

心も身体もリフレッシュ出来ますので。

※先週お伝えしたベアント・コープパストガバナーの卓話原稿を頂きましたのでお伝え致します。

プレゼンテーションin宮崎

国際ロータリー第1950地区ベアント・コープPG



宮崎南ロータリークラブ会長早瀬清則様、会員の皆様、大迫三郎パストガバナー様、関係の皆様本日は卓話の貴重な時間を頂きありがとうございます。

写真1：ヨーロッパでふたつとないプロジェクトについて本日皆様にご報告できますことをとても嬉しく存じます。演題は「ヨーロッパ最新鋭の有機栽培温室」です。

写真2：「ビジョン即ちアイデアから生産に至るまで」をご報告いたします。

写真3：上川咲男氏は2012年11月26日、初めて有機栽培温室を訪問されました。そこで上川氏はリーダーのカロリン・ウルリヒ女史ともお知り合いになりました。彼女はドイツの第一期V T Tを率いていましたが、このチームとともに彼女は3週間鹿児島、宮崎でお世話になりました。

写真4～7：それはとても刺激的で素晴らしい時間でした。彼女は日本の有機農業に触れ、多くの日本人に出会い、この滞在に感激していました。彼女からよろしくお伝えくださいとのことでした。

写真8：カロリン・ウルリヒは農園建設エンジニアで、アイデアとビジョンに溢れた人物です。彼女は私を納得させました。

写真9：2008年5月7日、彼女は少人数のグループとともに食糧の生産を始めました。

写真10～12：我々は古びた農家を買ひ、これを修復していましたが、同様にまた、我々は10ヘクタールの森林を購入しました。

写真13～14：ここに写っているのはイチゴを収穫しているグループです。カロリン・ウルリヒは作業員たちを指導していました。彼らは多くの助けと支援を必要とする人たちです。

写真15：そして、彼らは午後にはもう疲れ切っていました。収穫(収入)はとても少ないものでした。私はカロリン・ウルリヒに将来はと思うかと尋ねました。

写真16：彼女は言いました。「私たちがプロフェッショナルとして働くなら、私たちが本当にお金を稼ぎたいなら、近代的な栽培温室が必要です」これが彼女のビジョンだったのです。

写真17：我々は栽培温室について何も知りませんでしたので、専門家であるザクセ博士にお会いし、調査書の作成をお願いしました。それに対し、彼は我々に「いったい私に何を調べてもらいたいとお考えですか」と尋ねてきました。

写真18：そこで我々は自分たちの考えをつぶさに説明し、そこから2009年4月15日の調査書(企業化調査)が出来上がりました。当該調査書は、このプロジェクトを他に類のないものとしている4つの分野、4つの柱から成り立っていました。

写真19 a：1. 栽培温室は近代的であり、市場に存在する最上のものであるべきである。最新世代の栽培温室。

写真19 b：2. 生産物はバイオ(有機)であるべきである。生産物は存在する最上級の認証を得るべき。

写真19 c：3. すべての労働は、一般の労働市場では働くチャンスが全くない人々によって行われなければならない。

写真19 d：4. すべての熱及び電気は、栽培温室の真横に建設されるバイオガス設備から得られるべきである。

個々の詳細：

写真20：1. 最新世代の栽培温室。温室の大きさは1万平方キロ、即ち1ヘクタール。これは100m×100mです。温室の高さは6.25m、屋根は特製、そして冷却用の噴霧設備と加湿機能を備えています。

写真21：熱、水の補給、二酸化炭素、湿度 — 全てコンピュータ制御。

写真22：きゅうり栽培とトマト栽培では気候管理が異なります。

写真23：冬には暖房のパイプを天井に取り付け、このようにサラダを栽培することができます。

写真24：そして、土壌に手を入れ、

写真25：そのあとでパイプを再び地上に戻し、そして

写真26：通路に藁を敷きます。すると、もう1月でも作物を植えることができるのです。外はマイナス15°Cのときもあり

ますが。

写真27：2. バイオ(有機)栽培。作物は土の中に植えられます。

写真28：伝統的な栽培では土に役割はありません。ここでは作物はロックウールの中に植えられ、多くの水と化学物質により育てられます。

写真29：これはバイオ栽培においては禁じられています。ここでは全てが自然なのです。動物でさえ快適です。

写真30～31：これは全て厳格に管理監督されています。

写真32：3. 全ての労働は、助けと支援を必要とする人たちによって遂行されます。

写真33：ドイツの殆ど全ての栽培温室ではアフリカや貧しいヨーロッパの国々の労働者(ガストアルバイター)が投入されます。

写真34～41：我々が一緒に働いているのは、多くのことを覚えることができないがゆえに一般に「障がい者」と呼ばれる人たちです。彼らは例えば計算ができなかつたり字を書くことができなかったりします。しかし長所もあります。彼らは勤勉であり、友好的であり、人を助け、働くことを毎日楽しみにしています。

写真42：より弱い人たちは梱包所で働き、単純作業を行います。

写真43：あるいは、商品を選別します。

写真44：バイオ(有機)卵の梱包でもこれらの人々が投入されます。

写真45：4. 熱と電気はバイオガス設備から。栽培温室は年間400キロワット時の熱と25キロワットの電気を必要とします。このエネルギーを天然ガスや原子力発電から入手しようとするれば年間30万ユーロ(約3900万円)かかることでしょう。

写真46：このバイオガス設備は10万ユーロ相当の熱と電気を生み出します。これは多額の節約になります。

写真47：熱は約800m³の貯蔵タンクに蓄えられ常時80°Cに維持されます。

写真48：バイオガス設備の産物は植物にとって貴重な肥料となります。

写真49：今、今後数年で実現されるべき新しい構想があります。計画されているのは6基の風力発電と大規模太陽光発電設備です。これらは既存のバイオガス設備と連結され、風や太陽が強すぎる時は大規模蓄電池に蓄えられることになっています。更にもう一つの設備が水素とガスを産出することになっています。

写真50：未来は再生可能なのです。

写真51：これで「ビジョンから生産まで」の講演を終わります。

写真52：ご清聴ありがとうございました。

